

よこはまユースレター

寄附金特集



青少年の体験活動がより充実するよう、皆さまからの寄附金で、青少年交流センターに「陶芸用電気窯」を、野島青少年研修センターに「レクリエーション・カヌー」を購入させていただきました。

土の感触を楽しみながら造形・表現活動の豊かさに触れる「陶芸体験」、そして横浜に唯一残る自然海浜で自然・海に親しむ「カヌー体験」の機会を増やし、積極的に活用していきます。

*ご利用、団体活動プログラムとしてのご要望などは、各センターへご相談ください。



よく乾燥してから電気窯へ。

活動レポート

○ 横浜市青少年交流センター

こども陶芸教室 (10月 26 日)

1日陶芸体験にチャレンジしました。今回のお題は「植木鉢」。小学生 11 人と青少年ボランティア、横浜トリエンナーレサポーター子ども向けアートチームが参加し、和気あいあいとした雰囲気ながらも土をこねる姿は真剣そのもの。1週間ほど乾燥させた後、窯入れ。世界にひとつしかない特別な作品が出来上がりました。



○ 横浜市野島青少年研修センター

第18回野島クリスマスキャンプ2013

(12月 7 日～8 日)

市内小・中学校の個別支援学級に通う子ども達が少し早いクリスマスを過ごしました。



今年のテーマは「ハワイアン」。アロハシャツ姿のサンタが登場し、みんなでフラダンスやリンボーダンスを楽しんだり、ボランティアと一緒にディナー作りやストラップ作りをしたりと、盛りだくさんの1泊2日でした。保護者からの手作りケーキやピアノ演奏、ハワイアンダンスのプレゼントもあり、子どもも大人も笑顔いっぱいのキャンプとなりました。

*共催／野島クリスマスキャンプ実行委員会

特定寄附金事業

ハートフルスペース合同宿泊体験活動

チャレンジ in 野島

(11月 28 日～29 日)

ふだん顔を合わせることが少ない参加者同士。初めのうちは緊張気味でしたが、餅つきやふれあいタイム、キャンドルファイヤーなどのプログラムをとおして、次第に自分の殻を破って積極的に輪の中へ…。

*ハートフルスペース／横浜教育支援センターが運営。さまざまな理由で学校に登校できない子どもたちが、同年代の仲間とのコミュニケーションや体験活動により、互いの信頼関係を育み、子どもたち一人ひとりが本来持っている“明るさ”や“元気さ”、そして“自信”を取り戻すための『安心できる居場所』。

「ふくしまキッズ 横浜プログラム」(12月 21 日～28 日)

東日本大震災以降、放射能の影響で外遊びができなくなった福島の子どもたちが、野島青少年研修センターに宿泊し、外遊びやお祭りなどの地域交流を楽しみました。

*主催／特定非営利活動法人教育支援協会

● 寄附金控除が受けられます

よこはまユースへの寄附金（ユース賛助会費や事業指定寄附金）は、税法上の優遇措置が受けられます（募金箱は対象外）。所得税の還付申告の際に、1月下旬頃にお送りする「寄附金受領証明書」を添付し、管轄の税務署へご提出ください。



寄附金協力者		
(日付順、敬称略)		
◆ ユース賛助会費	75 件	326,000 円
◆ 特定寄附金	合計	37 件 55,000 円
【内訳】わくわく・生活体験プロジェクト	15,000 円	
野島クリスマスキャンプ	24,000 円	
ハートフルスペース	16,000 円	
◆ 一般寄附金	9 件	16,000 円

【団体名】 神奈川県野球連盟／横浜野球連盟／株式会社神奈川機関紙印刷所／コ一口・アンダンテ／横浜商工会議所／公益社団法人横浜中法人会／社団法人横浜市医師会／松見町一丁目町内会／神奈川区青少年指導員協議会／財団法人横浜市老人クラブ連合会／中区子供会連絡協議会／青葉学院／株式会社産業貿易センター／学校法人横浜加藤学園／市立吉原小学校 P T A ／鶴見区子ども育成会連絡協議会／横浜市退職小学校長会／京浜労基／特定非営利活動法人ともに浜をつくる会／稻垣薬品興業株式会社
【個人名】 小磯 ゆみ子／有路 由紀子／会沢 芳一／佐藤 小寿恵／今井 大／三枝木 伸／杉浦 武胤／美藤 愛／俵 節子／安田 幸世／須藤 健三／野村 藤芳／尾澤 詳憲／榎本 文夫／杉原 実一／光田 清隆／松本 英一／石塚 靖／三橋 赫夫／出口 晴基／加藤 信郎／井上 禮子／中村 輝次／長谷川 雅子／片岡 嘉久江／藤島 栄子／古澤 竜夫／伊藤 敦子／太田 京子／桐原 重孝／三池 明／飯島 幹夫／安田 由美子／池田 ふみ子／早川 雅子／立石 祐督／武 久美子／若木 一美／高橋 宣子／萩原 建次郎／福井 昭二／工藤 春治／市川 久江／南雲 誠司／稻又 理史／横関 桂子／田野井 伸泰／大橋 渉／今瀬 徹也／金子 剛士／杉山 光男／岩崎 淳／関野 修一／野田 義男

放課後児童クラブ（学童保育） 運営補助中間支援モデル事業を受託

平成27年度から施行される「子ども・子育て関連3法」に伴い、横浜市では放課後事業の中でも、特に放課後児童クラブ（学童保育）の充実が急務となっているなか、法人の新たな取り組みとして、本事業を受託しました。対象は港南区内13か所のクラブです。各クラブの運営主体（保護者や法人）と指導員に実施したヒアリング結果を基に、保護者交流会の開催、活動プログラムの支援のほか、横浜市に現場の運営事務負担軽減に向けた提案をしていきます。＊受託期間／平成25年度下半期

ありがとうございました

第53回 爆笑！濱っ子寄席（11月15日、関内ホール）

今年も720人を超えるお客様にお楽しみいただき、盛会のうちに終了しました。この事業の企画・運営は様々な業種からの青少年育成活動に理解のあるボランティアの皆様で構成する実行委員会が実施しています。事業の収益は青少年育成のために活用させていただきます。

◆募金額／81,310円

◆事業収益／240,000円（見込み）



活動レポート

○ 横浜市青少年育成センター



「ユースコーディネーター養成研修」がスタート！（12月5日～1月23日）

「子どもたちが出すサインに気づいていても、一歩がなかなか踏み出せない」。

子どもたちを取り巻く課題がますます深刻になり、地域で日常的に子どもたちと関わるなかで、必要な時に必要な支援につなげることができる人材養成を図る研修会です。定員20人のところ倍以上の申し込みがあり、子どもをめぐる課題の深刻さを改めて感じます。4回シリーズの導入講義（テーマ：気づき・支え・つなぐ）、第2回（テーマ：児童相談所の仕組みと地域の役割）が終了し、延べ100人の「子どもに関わる大人」たちが学びました。

○ よこはまユース（本部事業）

道志村児童横浜受け入れ事業

（10月3日～4日）



横浜市と道志村の親善と交流を目的に、道志小学校の5年生を横浜に招き、市内小学生との交流会、横浜港での乗船体験、中華街散策、浄水場や自動車工場の見学を行いました。

道志村の子どもたちは、横浜の街並み、港、産業に触れ、将来の夢や可能性を広げると共に、水源として横浜を支える道志村の誇りを自覚した2日間となりました。

みなと★プラネタリウム

（12月14日）



小学4年生～中学3年生を対象に、横浜市立みなど総合高校地球科学部の皆さんによる移動式ドームでの天体投影とミニプラネタリウム作りを行いました。冬の夜空について高校生が楽しく解説をしてくれました。横浜でも見ることのできる星座を教えてもらって、参加した子どもたちからは「今日の夜、星を見てみる」という声がたくさん聞かれました。（参加者36人・高校生9人）

○ 放課後キッズクラブ

放課後3事業“スタッフ力”アップ研修－3講座

（11月6日・21日、12月6日）

横浜市放課後事業を支えている、放課後児童クラブ（学童保育）、はまっこふれあいスクール、放課後キッズクラブから、計121か所181人のスタッフが参加。現場のスタッフが日々直面している課題からピックアップした「子どもと向き合う」「共感を生み出す伝え方」「チームづくり」をテーマに研修を行いました。参加者一人ひとりが研修で得たものを、それぞれの現場で活かしていただけたらうれしいです。



横浜サンタプロジェクト2013

（12月14日）

パシフィコ横浜円形広場で開催。サンタとなつて横浜の子どもたちに笑顔をプレゼントというプロジェクトに賛同しブースを出店しました。早押しや反射神経ゲームのほかバルーンアート体験に子どもも大人も夢中！たくさんの笑顔に出会うことができました。



*主催／サンタが街にやってきた！2013実行委員会

●編集後記●

本年もよろしくお願いいたします。今年は午年。皆さまからいただいたご意見は「馬耳東風」にすることなく真摯に事業に反映します。ギリシア神話に登場するペガサスのように大きく羽ばたく1年に…。